



平成29年6月30日

ーミンダナオの平和を確かなものへー  
フィリピン・ミンダナオ バンサモロ自治政府公務員候補者  
第5期広島初修研修を行います  
～JICA 草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）～

広島大学は、広島県と共同で、フィリピン共和国ミンダナオ地域の平和の定着を支援する平和構築事業を、独立行政法人国際協力機構（JICA）草の根技術協力事業の一環として、2014年から行っています。

当事業は「フィリピン・ミンダナオのバンサモロ自治政府人材育成強化事業～平和構築支援を通じたグローバル・ヒロシマの形成～」として、7月期に20代の青年12名を広島に4週間招聘して「広島初修研修」を実施します。その後、初修研修修了者から優秀な者6人をミンダナオと広島で2週間ずつ、個人のレベルに合わせて能力を強化する「ミンダナオ・広島スキルアップ研修」を明後年の1月期に実施するものです。

このたび、第5期の広島初修研修として、80名以上の応募者の中から厳格に選抜された20代のバンサモロ自治政府公務員候補者12名をミンダナオから広島に招聘し、広島の復興、日本の広域自治体行政の仕組みや実務を学んでもらうため、下記のとおり研修を実施します。

ミンダナオ島では現在、西部のイスラム教徒多住地域に位置する学園都市マラウィを中心に、「イスラム国」(IS)への忠誠を宣言する武装組織とフィリピン国軍との間で激しい戦闘が行われていますが、この事件は、50年に及ぼうとするイスラム反政府勢力の独立や自治を求める闘争がようやく平和的解決に向かう中で、和平プロセス進行をさらに長引かせるのではないかと懸念を生んでいます。今回招聘する研修生にとっても、本事件は他人ごとではありませんが、本研修の着実な実施により、バンサモロ政府がいつ実現しても、この自治政府という平和の原動力が、住民に平和の配当となる公平で公正かつ効率的な行政サービスを提供できるように、優秀で有能な人材を輩出していきたいと考えています。

今回の人材育成事業は、広島大学の基本理念である「平和を希求する精神」と広島県の「国際平和拠点ひろしま構想」の下で、実際の平和構築に深く関与する新しい広島の平和構築支援となります。これまでの広島大学のミンダナオ和平への関与の経験を踏まえ、総合大学としての教育能力と研究能力、広島県の実務者の知識とスキルを駆使し、第二次世界大戦の激戦地にもなったバンサモロ地域に平和が定着するよう、広島から平和の尊さと復興を学び、住民が平和の意味を実感できる効率的な政府を実務的に運営できる人材を養成することを目指します。

## 記

1. 日 程 2017年7月3日（月）～ 7月28日（金）
2. 場 所
  - ① 広島大学大学院社会科学研究所（東広島市鏡山 1-2-1）
  - ② 広島県庁（広島市中区基町 10-52）
  - ③ 広島国際プラザ（JICA中国センター）
  - ③ 広島平和記念公園（広島市）
  - ④ 庄原市
  - ⑤ 熊野町
  - ⑥ 東広島市
  - ⑦ 大竹市



### バンサモロ自治政府

2012年にフィリピン政府とモロ・イスラム解放戦線(MILF)との間で調印された「バンサモロ(「イスラム教徒の国」の意)枠組合意」によって設立が合意された新たな自治政府で、2016年にミンダナオ西部に発足する予定でした。設置の根拠となる「バンサモロ基本法」が議会閉会までに成立しなかったため、昨年の選挙で成立した新議会が今年7月からの会期で新たに「バンサモロ授権法」を審議・成立させて自治政府を発足させる予定です。

本件に関する連絡は、下記お問い合わせ先(7/4は携帯電話)へご連絡下さい。

#### 【お問い合わせ先】

広島大学大学院社会科学部 神谷志穂実  
TEL/ FAX: 082-424-6936  
7月4日当日の連絡先: 090-2865-3950

発信枚数: A4版 3枚